



# ほけんのまどから



## 9月感染症情報

インフルエンザ 乳児1名  
ヘルパンギーナ 幼児1名

乳児クラスでは突然の高熱がでる風邪が流行りました。世田谷区では新型コロナ、インフルエンザが先月に引き続き多い状況です。

手足口病も増加傾向にありますので、体調不良時は無理せず体を休めていきましょう。

## お知らせ

☆新しい乳児医療証のコピーの提出がまだの方は職員に提出をお願いします。健康保険証の更新がある場合も合わせて提出してください。

☆10/1からインフルエンザの予防接種が開始されます。区の助成を利用し、早めに計画を立てていきましょう。接種をしたら職員にお知らせください。

## 10月10日は目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力低下するのは、姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。視覚からたくさんの刺激を経験することで、子どもたちの視力を育てていきましょう。

### こんな見方は危険信号！

- テレビや絵本に近づいて見る
- 明るい戸外でまぶしがる
- 目を細めて見る
- 上目遣いに物を見る
- 目つきが悪い、目が寄っている
- 見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする



このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしましょう。

### 👁️ 視覚スクリーニング検査 <スポットビジョンスクリーナー>

目の異常の早期発見は3歳児健診での視力検査が大切です。しかし、自宅での視力検査が正しく出来ているか不安な家庭も多いと思います。また、乳児や視力検査が出来ないお子さんでも検査できる機械があります。

👁️ スポット ビジョンスクリーナーは、大人に抱っこされた状態で、たった数秒で近視、遠視、乱視、不同視、瞳孔不同など、弱視の原因となる異常を検出することが可能な検査機器です。お子さんの検査に対する難しさを克服する機械といえます。

目の事で気になる症状がある場合は、スポットビジョンスクリーナーがある小児科や眼科を受診してみたいかか。



## 秋～冬のスキンケアについて

これからの時期は空気が乾燥し、皮膚がかさかさや荒れ、痒みがでることがあります。子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥するとバリア機能がどんどん失われるため肌荒れを起こします。肌を保護するバリアがない状態で乾燥が進むと、あかぎれや発疹など、様々な皮膚トラブルがでやすくなります。家庭での日常的なケアを心掛けて良い状態を保ってあげましょう。

## スキンケア3か条



### ① しっかり保湿

お風呂上がりの肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的です。

### ② 清潔を保つ

お風呂ではごしごしこすらず、石鹸を泡立てて優しく洗います。

### ③ 刺激を少なくする

肌着は綿素材がお勧めです。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすく痒みの原因になることもあります。湿度は50%以下にならないように調節しましょう。

※伸びた爪で強くかいてしまうと皮膚のバリア機能が低下し、湿疹や炎症が悪化します。また、お友達を傷つけてしまうこともあります。定期的に爪を切るようお願いします。

